Mie Ogura violin
Atanas Ourkouzounov guitar
Yordan Markov gadulka

2025 10月19日（日）
開場　14:30
開演　15:00
（2ステージ入替無）
MC=3700＋2drinks order（1drink=600～）

CAFE BEULMANS
世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2 F
03-3484-0047
mail : info.cafebeulmans@gmail.com
メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。

アタナス・ウルクズノフ

強烈なブルガリアンリズム、キャッチーなブルガリア民俗的メロディーを現代的な言語に変換するアタナス・ウルクズノフは、現在クラシックギター界をリードする卓越したギターリスト／作曲家として知られる。パリ国立高等音楽院出身。作品はイタリアのアレッサンドリア作曲コンクールを始め多くの国際コンクールで受賞。フランスのアンリ・ルモワーヌ、エディション・フジュレー、カナダのドーベルマン・イーパン社などから出版され、世界中の著名ギタリストから高く評価され愛奏されている。現在パリ市立13区モーリス･ラヴェル音楽院ギター科、室内楽科教授として後進の指導に情熱を注いでいるほか、演奏家としても世界中のフェスティバルに招聘され、フルートの小倉美英との「デュオ･ウルクズノフ」､ソロリサイタル、テオドシ・スパソフ (ブルガリアの伝統フルート) とのクインテット「バルカン・ムード」などでこれまでに世界 20 ヵ国以上の出演を果たした。

小倉美英

「ミエ・オグラ、いかなる先入観も持たず、全てを融合させられるアーティスト」__2022 年フランス・アンティーユ紙より __ フルートの枠を超える表現力と、多彩なジャンルの影響を受け豊かな音楽性を構築してきた小倉美英は、現代フランスを自在に行き来し、カリブのフルート奏者マックス・シラ、前衛美術家シャルリー・オブリーとの共演、ブルガリアのアコーディオン奏者 ペーター・ラルチェフとギタリスト作曲家アタナス・ウルクズノフとの「ブルガリアと日本の架け橋」(2022 年度万博基金助成事業に採択) など、異文化、異分野共演を得意とするフルート奏者。パリ国立高等音楽院出身。2017 年に初の自作品のソロアルバム「スパイラル・メロディー」を発表、自らのグループ「レ・スピラル」を率いる。教育にも情熱を注ぎ、現在パリ市立 19 区ジャック・イベール音楽院フルート科、並びに即興アトリエ教授。20 年に渡り即興教育の必要性を唱え、その浸透に尽力した。

ヨルダン マルコフ

1977 年、ガドゥルカの中心地であるトラキア地方のノヴァ・ザゴラ市出身。7 歳の頃よりガドゥルカを習い始め、17 歳には町の舞踊グループのアンサンブルとして活躍。シューメン大学音楽科卒業後、ノヴァ･ザゴラ市の音楽教室でガドゥルカとソルフェージュを教える傍ら、近くの村の子供たちに歌を教えたり、ライブ活動を行う。2006 年 1 月来日、まだまだ日本では馴染みの薄いブルガリア音楽を紹介しようと活動を始め、民族音楽バンド《BALKAN》などに参加。2016 年、アコーディオン奏者佐藤芳明らと共に《ヨルダン･マルコフ･ブルガリア五重奏団》を結成。活動開始から 1 年経たずに都内ライブシーンで話題となり､翌年 1st album《Iztok》をリリース。